

I.C.E 御中
2024年10月21日

I.C.E 公式サイト ウェブアクセシビリティチェック 実施にあたって

CONFIDENTIAL

【関係外秘】
本資料の内容の許可なき
転載・引用・公開はご遠慮ください

CONCENT 

資料の趣旨

- I.C.E ビジネス委員会で今期ウェブアクセシビリティに取り組んでいる
- I.C.Eのサイトをサンプルに、ウェブアクセシビリティをやってみよう
- 現状サイトのウェブアクセシビリティチェックを一部実施済み
- 残りのページの一部をI.C.Eの有志でチェックしてみて、
アクセシビリティチェックを経験する

<https://i-c-e.jp/>



これまでのおさらい(前回のチェックについて)

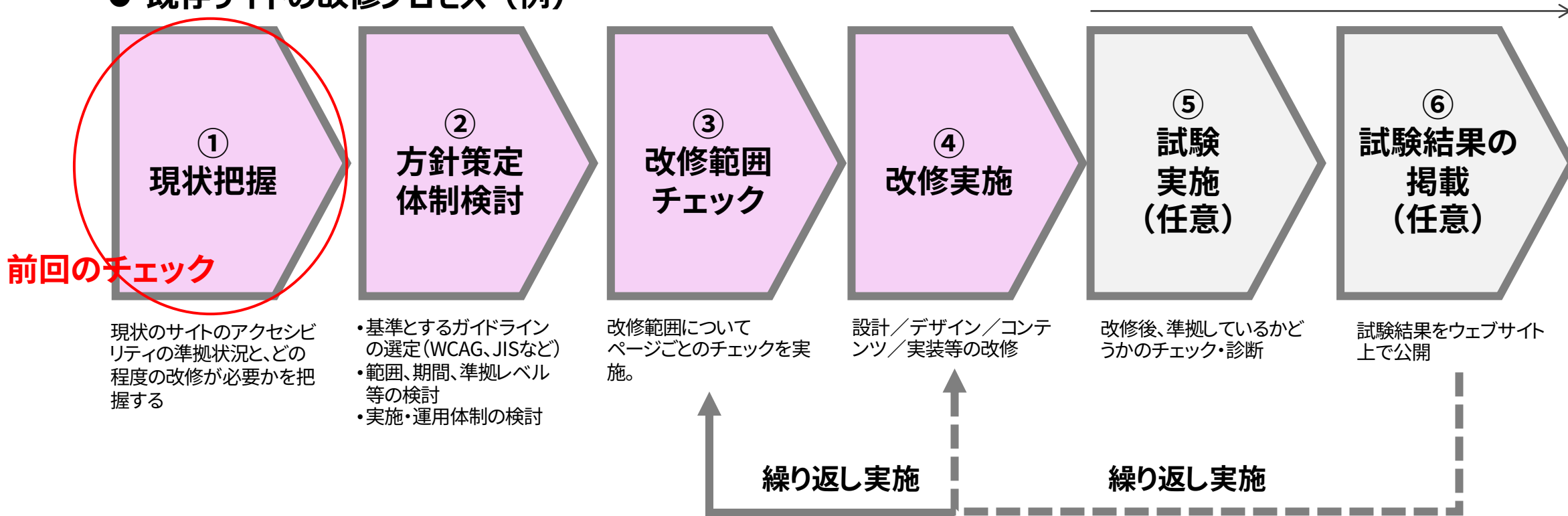


コンセントでの一般的なプロセス例(既存)

現状サイトの状況を把握するところからスタートします。調査を元に改修にどの程度の期間とコストがかかるかの想定を行い、段階的な改修を計画し、時間をかけて対応していくことが一般的です。

● 既存サイトの改修プロセス（例）

JIS X 8341-3:2016に「一部準拠／準拠」
する場合は必要



ある程度ボリュームのあるウェブサイトを一度に改修するのは現実的ではなく、サイト全体の中で優先順位をつけ、段階的にチェック、改善のプロセスを繰り返し実施することが一般的です。

※上記プロセスはあくまでケースのひとつであり、上記以外のプロセスもあります。



チェックとは

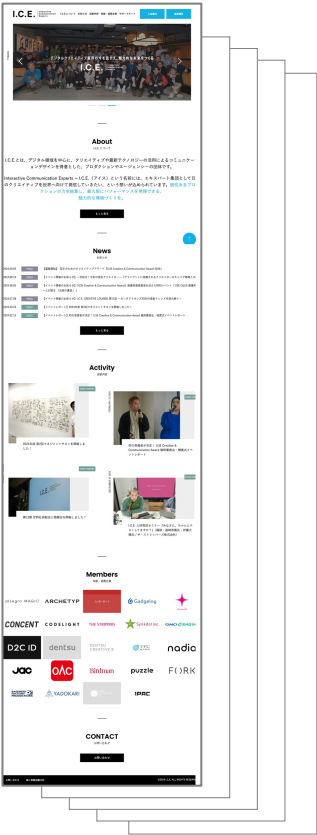
基本はページ単位でチェックを行う。今回はWCAG2.1AAの50項目をチェック。

WCAG 2.1 AAの達成基準50項目 (下記表は2.2 AA 55項目)

1 知覚可能	2 操作可能	3 理解可能
1.1 テキストによる代替 1.1.1 非テキストコンテンツ A 1.2 時間依存メディア 1.2.1 音声のみ及び映像のみ (収録済) A 1.2.2 キャプション (収録済) A 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済) A 1.2.4 キャプション (ライブ) AA 1.2.5 音声解説 (収録済) AA 1.3 適応可能 1.3.1 情報及び関係性 A 1.3.2 意味のあるシーケンス A 1.3.3 感覚的な特徴 A 1.3.4 表示の向き¹⁾ AA 1.3.5 入力目的の特定¹⁾ AA 1.4 判別可能 1.4.1 色の使用 A 1.4.2 音声の制御 非干渉 A 1.4.3 コントラスト (最低限) AA 1.4.4 テキストのサイズ変更 AA 1.4.5 文字画像 AA 1.4.10 リフロー¹⁾ AA 1.4.11 非テキストのコントラスト¹⁾ AA 1.4.12 テキストの間隔¹⁾ AA 1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ¹⁾ AA	2.1 キーボード操作可能 2.1.1 キーボード A 2.1.2 キーボードトラップなし 非干渉 A 2.1.4 文字キーのショートカット¹⁾ A 2.2 十分な時間 2.2.1 タイミング調整可能 A 2.2.2 一時停止、停止、非表示 非干渉 A 2.3 発作と身体的反応 2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下 非干渉 A 2.4 ナビゲーション可能 2.4.1 ブロックスキップ A 2.4.2 ページタイトル A 2.4.3 フォーカス順序 A 2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内) A 2.4.5 複数の手段 AA 2.4.6 見出し及びラベル AA 2.4.7 フォーカスの可視化 AA 2.4.11 隠されないフォーカス (最低限)²⁾ AA 2.5 入力モダリティ¹⁾ 2.5.1 ポインターのジェスチャ¹⁾ A 2.5.2 ポインターのキャンセル¹⁾ A 2.5.3 ラベルを含む名前 (name)¹⁾ A 2.5.4 動きによる起動¹⁾ A 2.5.7 ドラッグ動作²⁾ AA 2.5.8 ターゲットのサイズ (最低限)²⁾ AA	3.1 読み取り可能 3.1.1 ページの言語 A 3.1.2 一部の言語 AA 3.2 予測可能 3.2.1 フォーカス時 A 3.2.2 入力時 A 3.2.3 一貫したナビゲーション AA 3.2.4 一貫した識別性 AA 3.2.6 一貫したヘルプ²⁾ A 3.3 入力支援 3.3.1 エラーの特定 A 3.3.2 ラベル又は説明 A 3.3.3 エラー修正の提案 AA 3.3.4 誤り防止 (法的、金融、データ) AA 3.3.7 冗長な入力項目²⁾ A 3.3.8 アクセシブルな認証 (最低限)²⁾ AA 4 堅牢 (robust) 4.1 互換性 4.1.1 構文解析 (廃止・削除) 4.1.2 名前 (name)・役割 (role)・値 (value) A 4.1.3 ステータスメッセージ¹⁾ AA

【出典】 Web Content Accessibility Guidelines 2.2 (https://waic.jp/translations/WCAG22/) 【制作】 株式会社時代工房 (@jidaikobo) with もんぞ (@momdo) 【PDF調整】 中野 信 (@makojo) 2024年5月版

ウェブサイトの各ページ
(今回は20ページ程度)



引用:株式会社時代工房 / WCAG2.2 早見表 <https://www.jidaikobo.com/news/82.html>



調査対象ページの選定

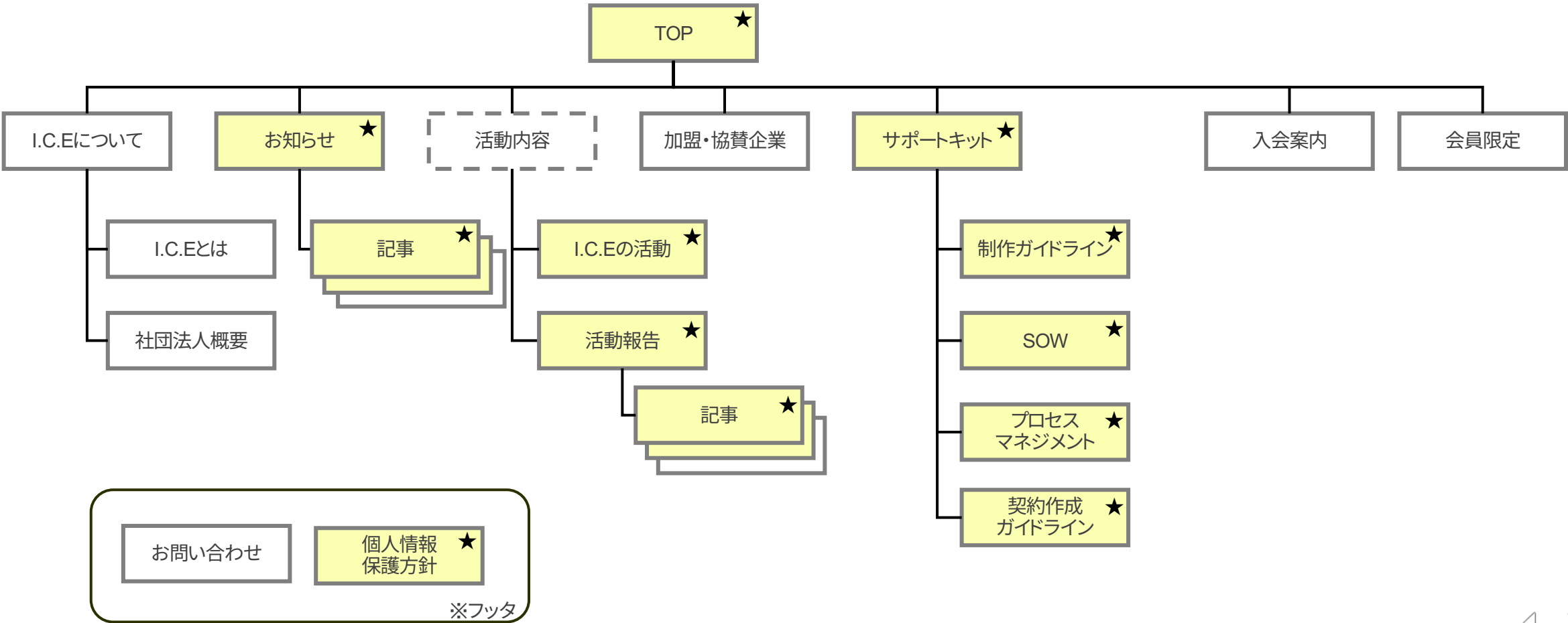
- 各サイトのコンテンツ傾向を踏まえる上で、重視した方が良いと考えられるコンテンツ
 - ページデザインによる観点
 - トップページ
 - ナビゲーション等の共通パーツ、UI
 - 展開数が多いページの雛形となるページ（同一のコンテンツパターンにて展開数が多いページ）
 - 主要カテゴリのトップ
 - 利用者観点
 - お問い合わせフォーム（入力フォーム）
 - サイトオーナー観点
 - 各サイトの主軸コンテンツとなるページ
- 各サイト内における評価ページの優先順位
 - 高：主要デザインの適用ページ
 - 低：PDF コンテンツ、外部サイト



I.C.Eサイトの大まかなサイト構造とチェック済み箇所

2024年9月に Consent でアクセシビリティチェックしたページ箇所

★ =チェック済み



- 調査結果とサマリーの作成
- 報告・共有会の実施(2024年9月25日実施)

CONCENT

[illegible]

今回のチェックについて



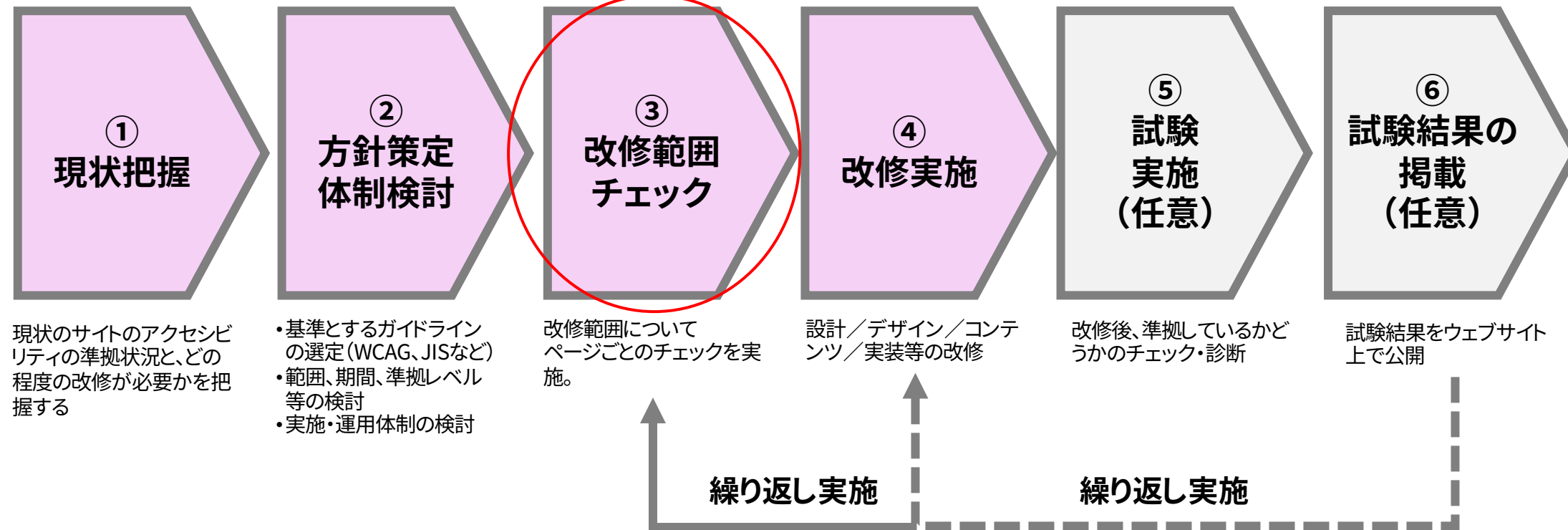
コンセントでの一般的なプロセス例(既存)

現状サイトの状況を把握するところからスタートします。調査を元に改修にどの程度の期間とコストがかかるかの想定を行い、段階的な改修を計画し、時間をかけて対応していくことが一般的です。

● 既存サイトの改修プロセス（例）

今回のチェック

JIS X 8341-3:2016に「一部準拠／準拠」
する場合は必要



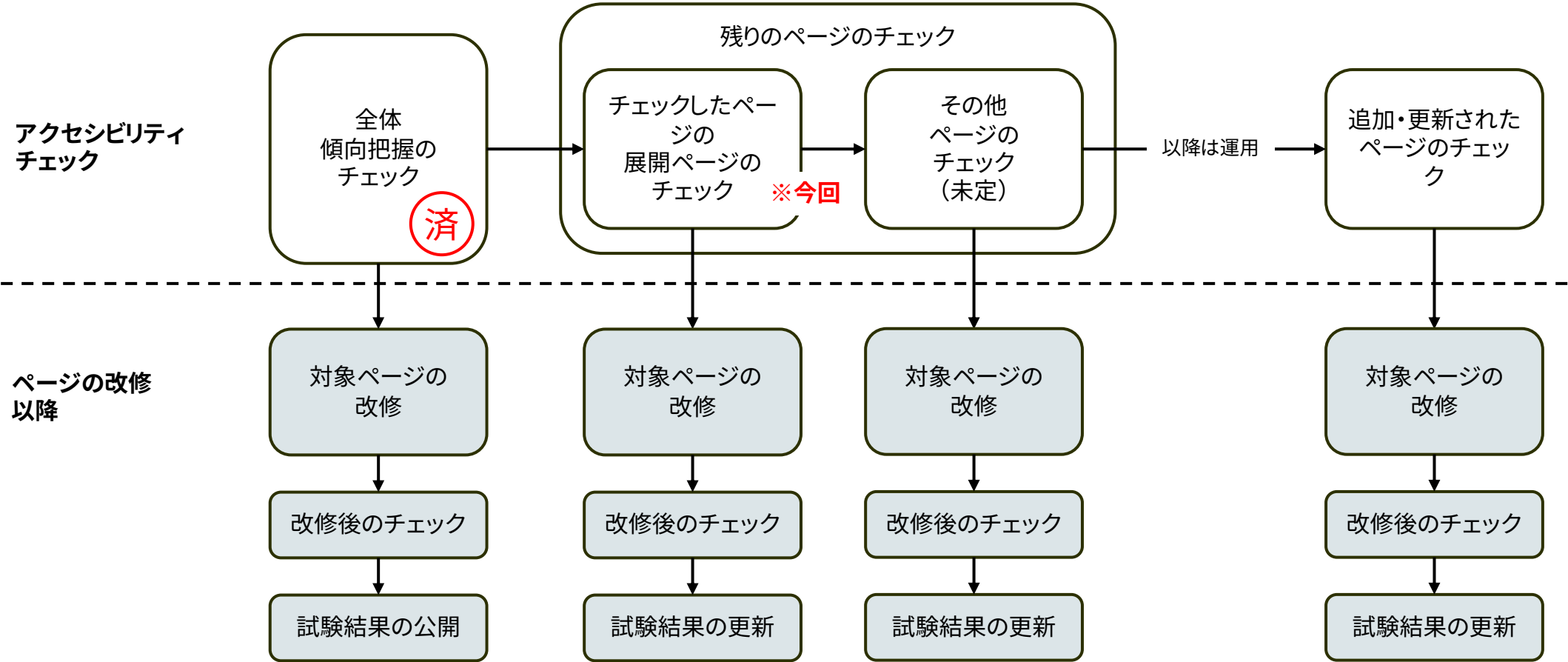
ある程度ボリュームのあるウェブサイトを一度に改修するのは現実的ではなく、サイト全体の中で優先順位をつけ、段階的にチェック、改善のプロセスを繰り返し実施することが一般的です。

※ 上記プロセスはあくまでケースのひとつであり、上記以外のプロセスもあります。



1 今回のチェックの位置づけ

(今回のフロー図と位置づけを図示)



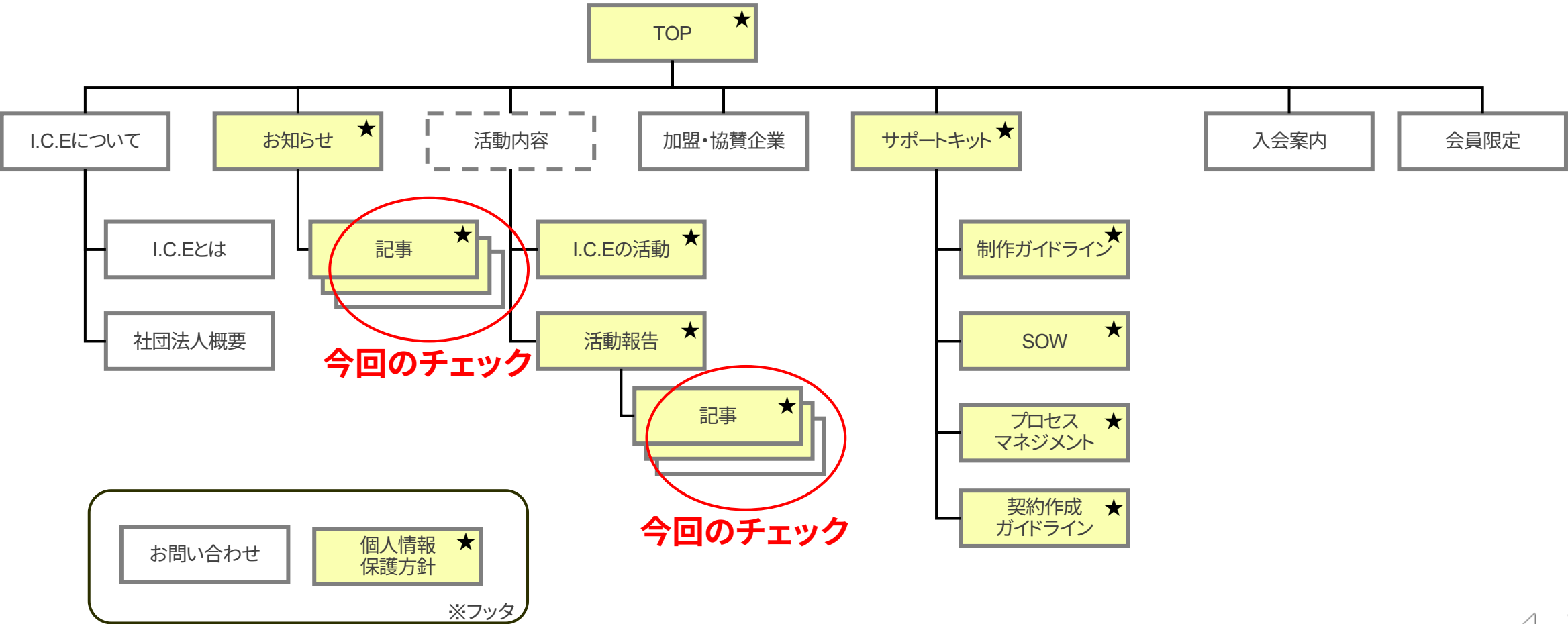
※ ウェブアクセシビリティの取り組みは一巡したらそれで完了というわけではなく、ウェブコンテンツを公開し続ける限り、継続的に取り組む必要があることを前提としています。



1 I.C.Eサイトの大まかなサイト構造とチェック済み箇所

2024年9月に Consent でアクセシビリティチェックしたページ箇所

★ =チェック済み



1 進行について

今回のチェックの範囲

- ニュースやアーカイブなど、雛形チェック済みの展開ページを対象としています。
- ヘッダ・フッタ周りのナビゲーション部分などは対象外となります。
- 主にページのボディー、コンテンツ部分にフォーカスしたチェックとなります。
 - フォームUI、ナビゲーションUI、タブやカルーセルなどアーティクル外でつかわれるようなUIは対象とならず、コンテンツの文書構造やコントラスト、代替テキスト等のチェックがメイン
 - WCAG2.1の達成基準のうち、10程度の項目に絞ったチェックとなります。

チェックの概要

- チェック期間：
 - 10月21日(月)～11月15日(金)目処
- 対象画面：
 - ページリストにて各社割り振り
 - お一人あたり大体5～10ページ目安で割り当てしております。(※別途Excelの「ページ割当シート」を参照ください)
- チェック方法
 - チェックシートを使って各画面のチェックいただき、課題の内容とその理由を記入
- チェック後のレビュー・フィードバック
 - 各社FBを受けたい代表的なページを2ページ程度選定いただき、コンセント側にてFB欄に記入(Excel「ページ割当シート」のFB欄に任意でチェックを入れてください)
- チェック後のレビュー会とQAについて
 - オンラインにて実施検討中です。



1 今日の説明

- チェックシートの使い方
- 主な達成基準のチェック方法

